

# コンクリート補修・補強フォーラム

## 「建造物の健康寿命」が主題

### 広島(11・12日)を皮切りに全国13会場

(一社)コンクリートメり、昨年は全国4000 建造物を造るシナリオと  
ンテナンス協会(徳納剛 人超を動員した。徳納会  
会長)による『コンクリー 長の「特定の工法・技術  
ト建造物の補修・補強に にこだわらず、正しい補 介。  
関するフォーラム201 修技術を」の理念のも また、同協会技術委員  
7』が今年も全国13会場 と、国交省、広島市など 長の江良和徳氏は、2日  
で開催される。今回のメ の官庁をはじめ、(公社) 間にわたってコンクリー  
インテマは、「建造物 土木学会や(一社)日本建 ト補修の基礎知識と劣化  
の健康寿命を延ばすため 築学会、(公社)日本コン 機構に応じた適切な補修  
のシナリオ」。皮切りとな クリート工学会など多く 技術を伝授。中国地方整  
る広島フォーラム(定員 備局からも幹部職員が講 康寿命を延ばす策」十河  
530人)は、5月11日 演予定で、その他産学官 茂幸(近未来コンクリー  
と12日の午前10時から広 からの各分野の専門家が登 ト研究会▽「長寿命構造  
島県民文化センター(中 壇する。 テナンス技術」竹田宣典  
区大手町1-5-3)で 元広島工業大学教授で近 物を造るシナリオとメン  
開かれる。 未来コンクリート研究会 H Pから専用フォームで  
代表の十河茂幸氏が「予 受け付けており、定員に 機構に応じたコンクリー  
今回で8回目となる全 防保全で健康長寿を延ば 達し次第締め切る。参加  
国フォーラムは、建造物 す策」について解説する は無料。CPD単位の取  
の長寿命化需要の高まり ほか、今回初登場となる 得も可能となっている。  
などを背景に回を重ねる 広島工業大学工学部の竹 ト系補修・補強材料の基  
ごとに参加者が増えてお 田宣典教授は、「長寿命 礎知識2017」持田泰 条件での基礎補強」稲富  
山口(5月17、18日)、大 子(セメント協会) イル研究会

阪(5月25、26日)、福岡 5月12日「機能性塗  
(6月7、8日)、沖縄(6 料を用いた補修方法の提  
月15日)、香川(6月21 案)中丸大輔(日本ペイン  
日)、北海道(6月29日)、 ト)▽「電気防食技術の解  
新潟(7月4日)、東京 説と応用」田中一弘(日本  
(7月19、20日)、宮城(7 エルガード協会)▽「亜硝  
月28日)、愛知(8月2、 酸リチウムを用いたコン  
3日)、長野(8月8日)、 クリート補修技術」江良  
佐賀(8月22日)。 和徳(極東興和)▽「橋梁  
広島フォーラムの内容 点検におけるドローンの  
は次の通り(登壇順、敬 未来)小林大(大日本コン  
称略)。 サルタント)▽「プレスト  
5月11日「演題未 レストコンクリートの維  
定」中国地方整備局講師 持管理」真鍋英規(COR  
E技術研究所)▽「シラ  
康寿命を延ばす策」十河  
ン・シロキサン系浸透性  
吸水防止剤」黒田晃(旭化  
成ワッカーシリコーン)  
▽「小規模橋補修課題解  
決にむけた伸縮装置及び  
床板防水の一体化工法に  
ついて」竹内祥一(福美建  
設)▽「支承リバイバルシ  
ステム野村一貴(ダイク  
レ興産)▽「狭あいな施工  
条件での基礎補強」稲富  
芳寿(高耐力マイクロパ  
イル研究会)

5月12日「演題未 定」中国地方整備局講師  
持管理」真鍋英規(COR  
E技術研究所)▽「シラ  
康寿命を延ばす策」十河  
ン・シロキサン系浸透性  
吸水防止剤」黒田晃(旭化  
成ワッカーシリコーン)  
▽「小規模橋補修課題解  
決にむけた伸縮装置及び  
床板防水の一体化工法に  
ついて」竹内祥一(福美建  
設)▽「支承リバイバルシ  
ステム野村一貴(ダイク  
レ興産)▽「狭あいな施工  
条件での基礎補強」稲富  
芳寿(高耐力マイクロパ  
イル研究会)